

一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 8月 7日

議 会 議 長 様

議席番号 2 番

議員氏名 市 毛 大 助

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 少子高齢化による人口減と 税収減少の対策を	<p>町では少子高齢化が進み、人口が減少しています。その影響により、民生費は増え続け、税収は減少しており、自主財源比率が低くなりました。</p> <p>また、有識者グループ「人口戦略会議」は、国立社会保障・人口問題研究所の推計をもとに、「若年女性人口」の減少率を市町村ごとに分析しました。</p> <p>2050年までの30年間で若年女性人口が半数以下となる自治体は、全体の4割にあたる744自治体あり、これらの自治体はその後、人口が急減し、最終的に消滅する可能性があるとしています。杉戸町の人口は2000年の47,336人をピークに減少に転じています。</p> <p>そこで、これらを踏まえ、以下伺います。</p> <p>(1) 町の65才以上の人口が全体の3割を超え、民生費が増えています。10年前の2015年、直近の2022年、2023年の予算額に占める民生費の割合と今後の見通しは。</p> <p>(2) 杉戸町の公債費について、2021年、2022年、2023年の元利償還払いと現在の残高を踏まえた今後の見通しは。</p> <p>(3) 税収増の対策について、どのような計画が有るか。</p> <p>(4) 町の若年女性人口のピークと現在までの推移は。 また、2050年はどのように想定されるのか。</p> <p>(5) 町の出生数のピークと現在までの推移はどうか。 また、2050年はどのように想定されるのか。</p>	町長 副町長 総合政策課長 担当課長

8月 7日 午前・午後11時5分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
<p>2. 町の上下水道事業は安定した運営を</p>	<p>(6) 今後の人口減少の問題をどのように検討し、対策していくのか当町の見解は。</p> <p>当町の上下水道事業は住民の日常生活に欠くことのできない重要なライフラインです。少子高齢化により上下水道事業を取り巻く経営環境は、厳しくなっております。そこで以下伺います。</p> <p>(1) 年間有収水量のピーク時は何年か、総有収水量と人口を伺います。</p> <p>また、令和5年度の総有収水量と人口は。</p> <p>(2) 上下水道の管路延長は、令和元年度から令和5年度にかけてどの位実施されたのか。</p> <p>(3) 法定耐用年数を経過した管路延長は全体の何%になるのか。</p> <p>(4) 現時点での企業債の残高はいくらか。</p> <p>(5) アグリパークの下水道事業にかかった費用とそれに従事した企業名は。</p> <p>(6) 平成31年3月に策定した「杉戸町水道事業経営戦略」(計画期間：平成31年度～平成40年度)について、中間時点である令和5年度での当初の経営戦略プランと大きく差異があるところはどこか。</p>	<p>町長 副町長 上下水道課長 担当課長</p>